

Microsoft SQL Server 2008 SQL Server Management Studio データベースバックアップ設定マニュアル

<Windows 環境>

1. 注意事項.....	1
2. データベースのバックアッププラン作成方法	2
3. データベースのバックアップ	8
4. データベースの復元方法について	11

1. 注意事項

このマニュアルは Microsoft SQL Server 2008 のバックアップ設定マニュアルです。
Microsoft SQL Server 2005 のバックアップ設定については別紙「Microsoft SQL Server 2005 バックアップ設定マニュアル」をご覧ください。

作業を実施される前に以下の注意事項を確認して下さい。

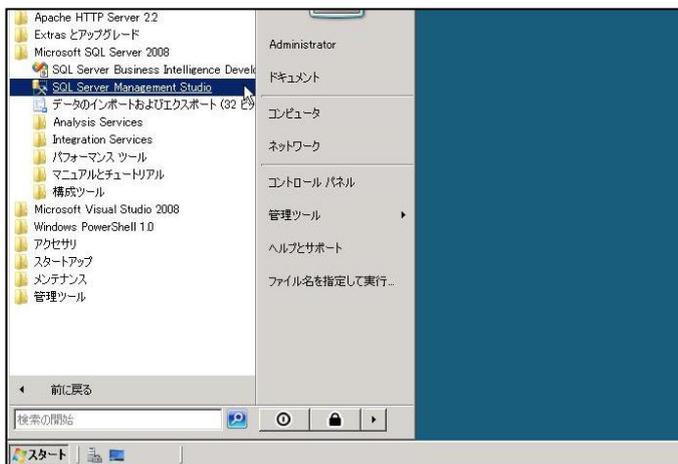
- ① Administrator 権限ユーザーにて実施を行って下さい。
- ② SQL Server Management Studio は Microsoft 社のソフトウェアとなります、Microsoft 社のホームページよりダウンロードが可能です。
- ③ データベースサーバーにおいて作業を実施して下さい。
※WEB サーバー専用のサーバーには実施していただく必要はありません。
- ④ バックアップ中はサーバー負荷が非常に高くなり、製品の運用は控えていただく必要がございます。
- ⑤ バックアップスケジュールは運用形態に合わせてご計画ください。
- ⑥ ご利用の SQL Server の Edition により、バックアップ設定中にエラーが発生した場合は、以下の対処を実施します。
 - Workgroup
サービスパックの適用「SQL Server2008 SP1 以上」が必要になります。

2. データベースのバックアッププラン作成方法

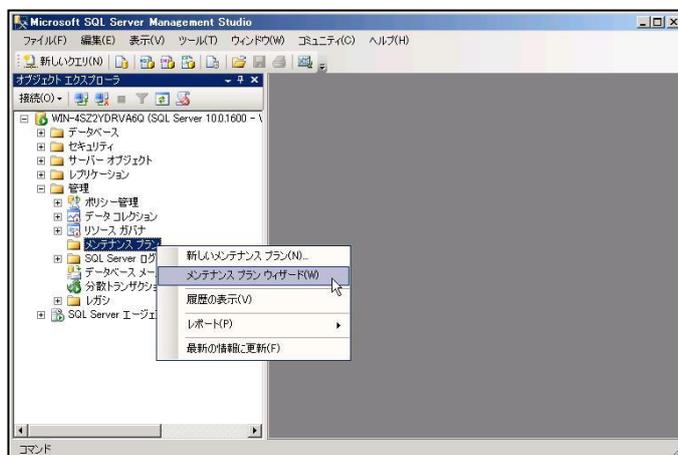
定期自動バックアップの設定を行います。

バックアップスケジュールについては運用形態に合わせて設定してください。

- ① SQL Server Management Studio を起動してください。



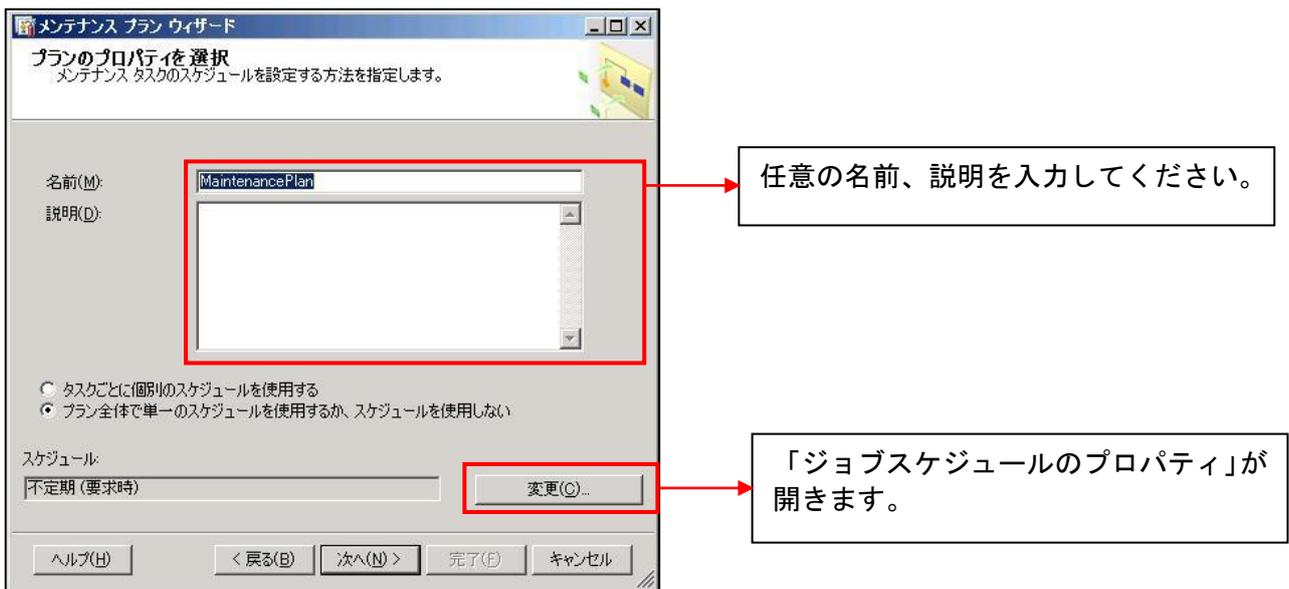
- ② 対象のサーバー名の「管理」>「メンテナンスプラン」を右クリックし、「メンテナンスプランウィザード」をクリックしてください。



③ 以下の画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックしてください。



④ 「変更」ボタンをクリックしてスケジュールを設定してから「次へ」ボタンをクリックしてください。



⑤ 運用形態に合わせたスケジュールを設定してください。

名前(N): MaintenancePlan1

スケジュールの種類(S): 定期的 有効(B)

指定日時に発生
日付(D): 2009/05/18 時刻(T): 19:32:22

頻度
実行(C): 毎週
間隔(R): 1 週
 月曜日(M) 水曜日(W) 金曜日(F) 土曜日(S)
 火曜日(T) 木曜日(H) 日曜日(U)

一日のうちの頻度
 1回(A): 00:00:00
 間隔(V): 1 時間 開始(T): 00:00:00 終了(G): 23:59:59

実行時間
開始日(D): 2009/05/18 終了日(E): 2009/05/18
 終了日なし(O)

概要
説明(P): 毎週日曜日の 0:00:00 に実行。スケジュールは、2009/05/18 に開始します。

OK キャンセル ヘルプ

任意の名前を入力してください。

選択されたタスクを実行するスケジュールを入力してください。

⑥ タスクの種類を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

メンテナンス プラン ウィザード

メンテナンス タスクの選択
このプランでどのタスクを実行しますか?

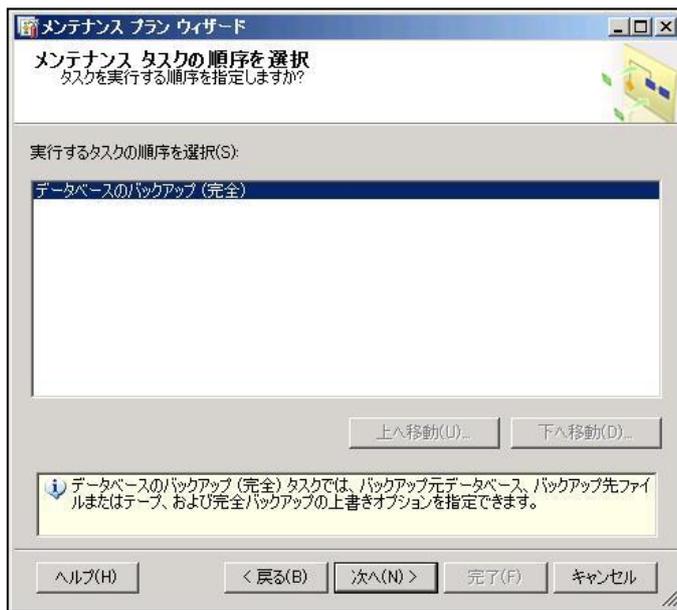
1つ以上のメンテナンス タスクを選択(S):

- データベースの整合性確認
- データベースの圧縮
- インデックスの再構成
- インデックスの再構築
- 統計の更新
- 履歴のクリーンアップ
- SQL Server エージェント ジョブの実行
- データベースのバックアップ(完全)
- データベースのバックアップ(差分)
- データベースのバックアップ(トランザクション ログ)
- メンテナンス クリーンアップ タスク

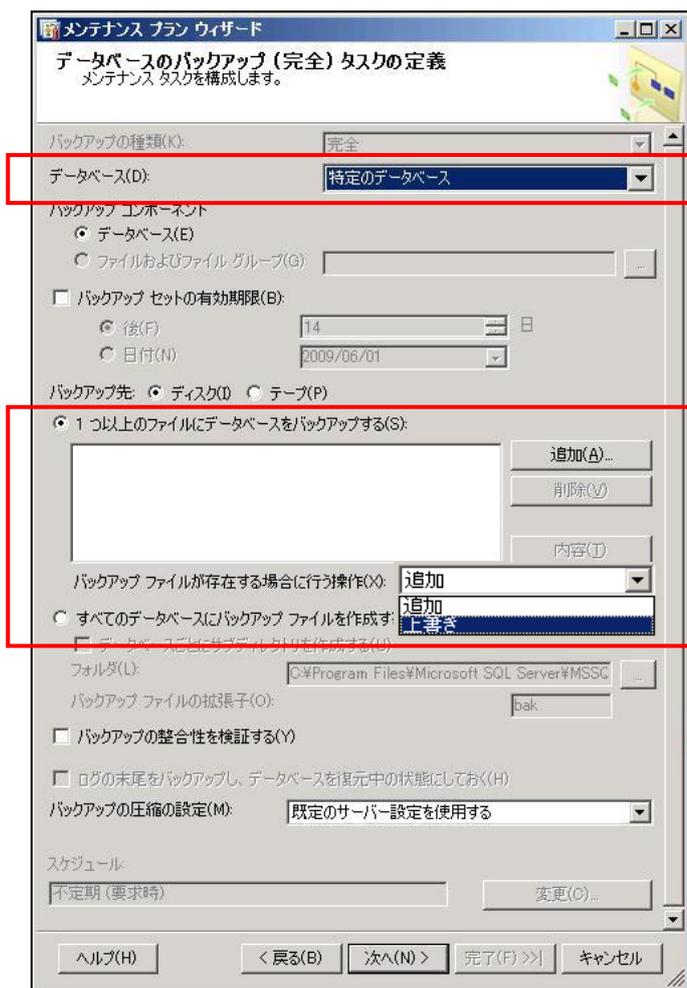
ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F) キャンセル

「データベースのバックアップ(完全)」を選択してください。
各タスクの詳細な情報は、選択している行の説明が、画面下部に表示されます。

- ⑦ 複数のタスクを選択された場合は、以下の画面で順番を指定することができます。
「次へ」ボタンをクリックしてください。



- ⑧ バックアップの設定画面が表示されるので、各項目を設定し「次へ」ボタンをクリックしてください。



右端の▼をクリックして、これらのデータベースより、「nidb6」にチェックをつけ、「OK」ボタンをクリックしてください。

こちらにチェックを付けて、追加ボタンをクリックしてファイル名の設定、および、バックアップファイルが存在する場合に行う操作で「上書き」を選択してください。

- ⑨ バックアップファイルの保存先および保存ファイル名を入力してから「OK」ボタンをクリックしてください。デフォルトでバックアップ先フォルダまで指定済みとなっていますが、ドライブ名を含めたパスを確認し、ファイル名を最後に追記してください。



参照ボタンをクリックし、展開した画面にてバックアップファイル名を任意入力します。
(例)Backup_full.bak

(例)C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10.MSSQLSERVER\MSSQL\Backup\Backup_full.bak
ファイルの拡張子は「.bak」となります。

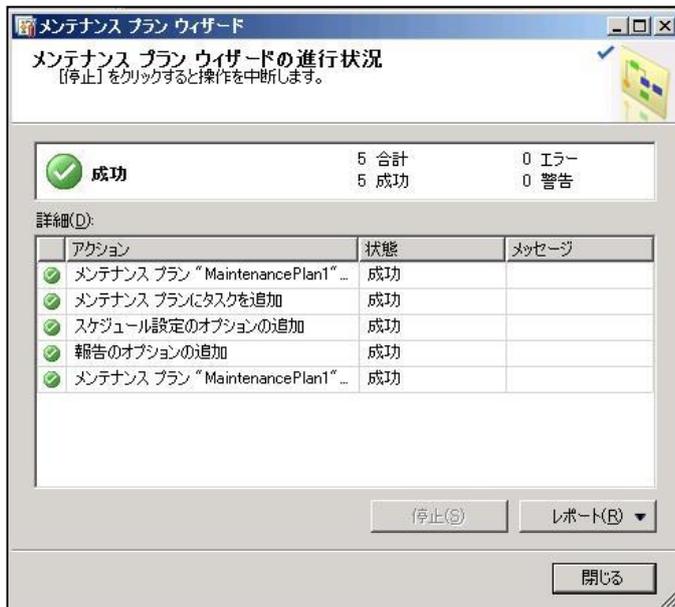
- ⑩ レポートオプション画面が表示されるので、出力先を設定して「次へ」ボタンをクリックしてください。



⑪ 完了画面が表示されるので「完了ボタン」をクリックしてください。



⑫ 進行状況で全ての状態が「成功」となったら完了です。



※「nidb6」の設定が終わりましたら、再度①からの手順から、今度は「nidb6_files」のバックアップスケジュールを設定します。

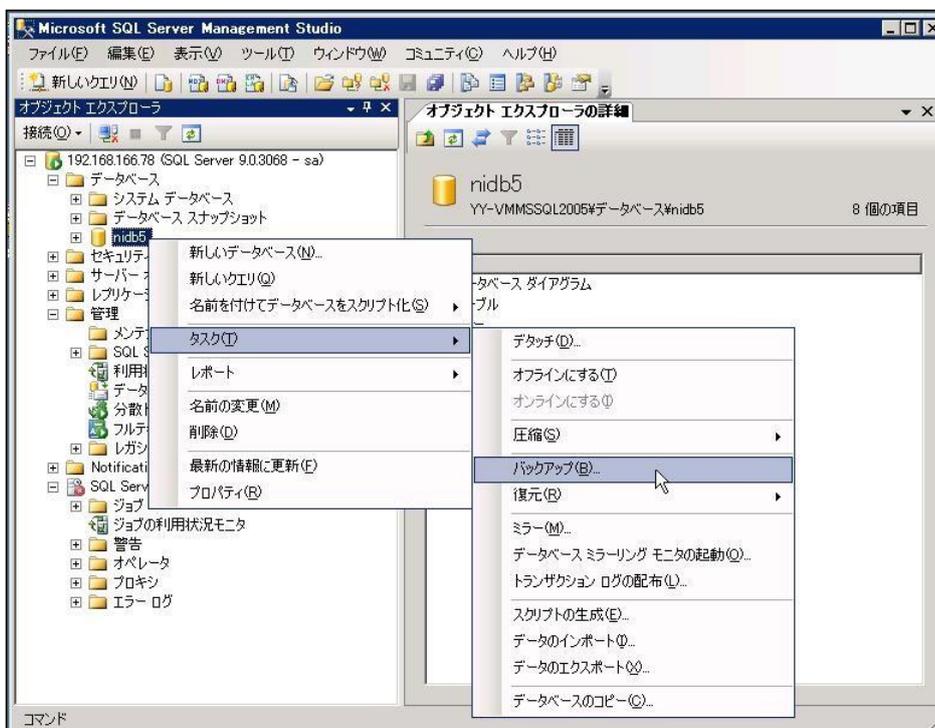
3. データベースのバックアップ

SQL Server のメンテナンス作業を行う場合など、作業時点のバックアップを取得する場合に参照してください。

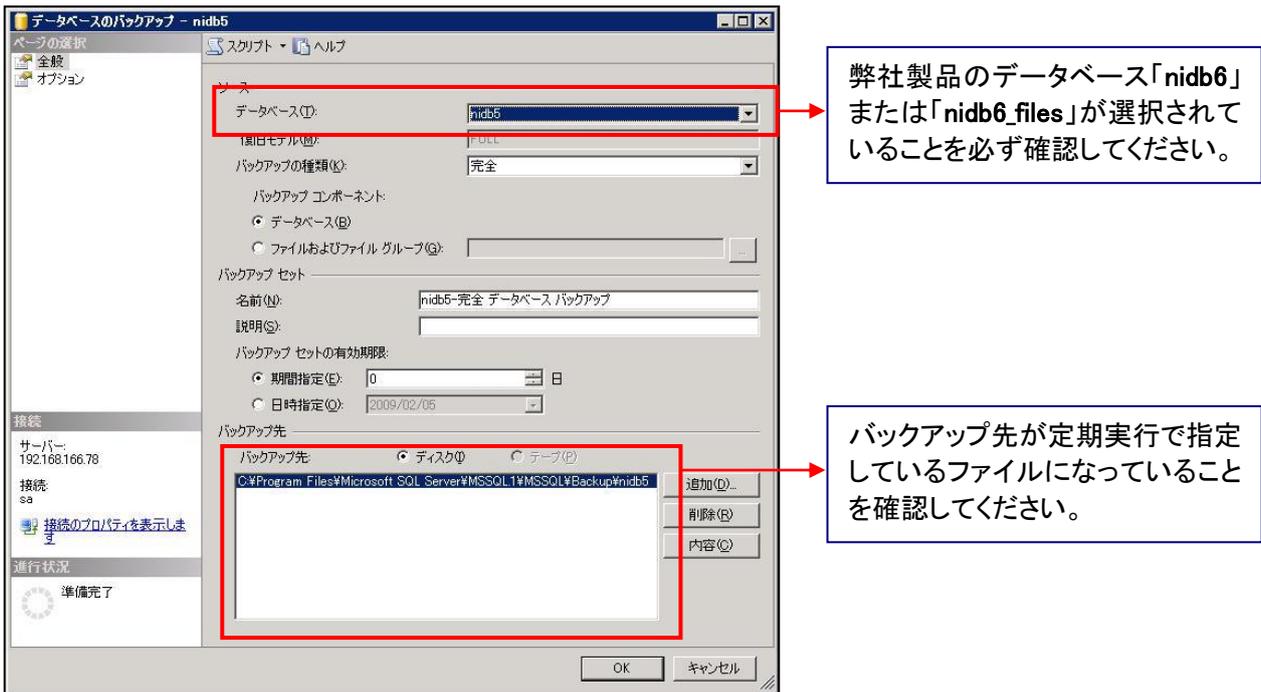
3-1. 定期バックアップを保存しているファイルに上書きする場合

『2. データベースのバックアッププラン作成方法』で設定した定期実行のバックアップファイルに上書きします。すでに設定されているバックアッププランを使用するため簡単にバックアップを取ることができます。

- ① SQL Server Management Studio を起動して下さい。
「スタート」→「プログラム」→「Microsoft SQL Server 2008」→「SQL Server Management Studio」
- ② 製品がインストールされているサーバーグループを選択し、対象となるサーバーを開いて下さい。
- ③ データベースの一覧から「nidb6」、「nidb6_files」を右クリックし、メニューを開き、「タスク」の中の「データベースのバックアップ」を選択して下さい。



- ④ 製品データベース「nidb6」、「nidb6_files」が選択されていることを確認し、バックアップセットで「nidb5-完全 データベースバックアップ」を選択し、「OK」ボタンを押します。



- ⑤ 正常にデータベースのバックアップが終了されますと、以下のメッセージが表示されます。以上で、データベースのバックアップが完了となります。



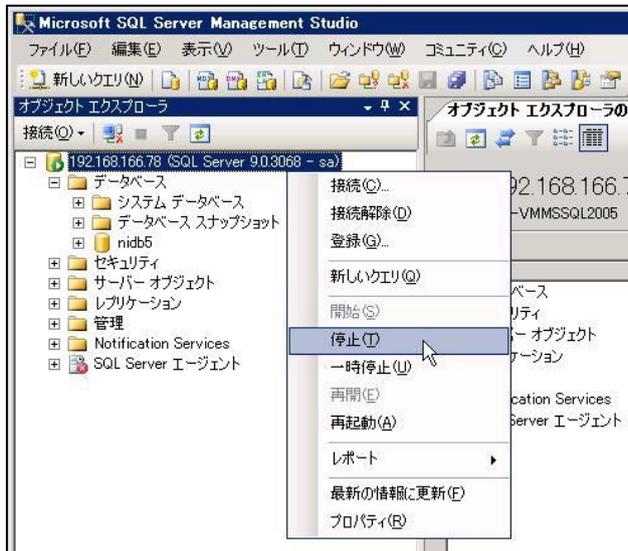
3-2. 外付けの HDD などに直接データベースファイルのバックアップをとる場合

定期バックアップとは別に、外付け HDD など外部メディアにバックアップを取得する場合に参照してください。

SQL Server を停止する必要があるため、製品を利用できません。ユーザーに対して運用停止の案内を行ってから作業を開始してください。

① SQL Server を停止します。

SQL Server Management Studio で SQL Server を右クリックし、「停止」を選択します。



② データベースをコピーし、バックアップを保存したいメディアに貼り付けます。

弊社製品のデータベースファイル「nidb6.mdf」「nidb6_log.ldf」「nidb6_files.mdf」「nidb6_files_log.ldf」は通常 SQL Server のデータ格納箇所に配置されております。SQL Server を標準インストールした場合、データ格納場所は以下となります。

例) SQL Server インストールドライブ¥Program Files¥Microsoft SQL Server

¥MSSQL10.MSSQLSERVER¥MSSQL¥Data

③ ②の作業が終了したら、SQL Server Management Studio で SQL Server を右クリックし、「開始」を選択します。

4. データベースの復元方法について

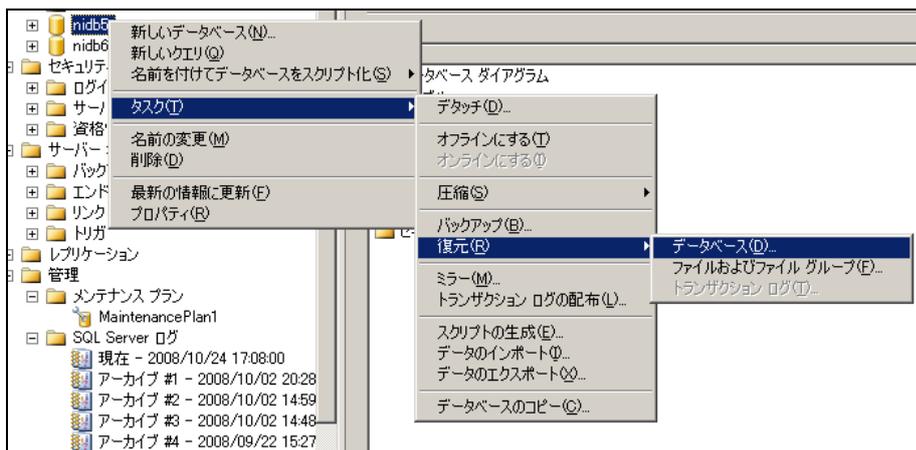
データベースを復元する際は、以下の手順によりバックアップファイルより復元が可能です。

以下はバックアッププランにて取得したデータの復元方法の説明となります。

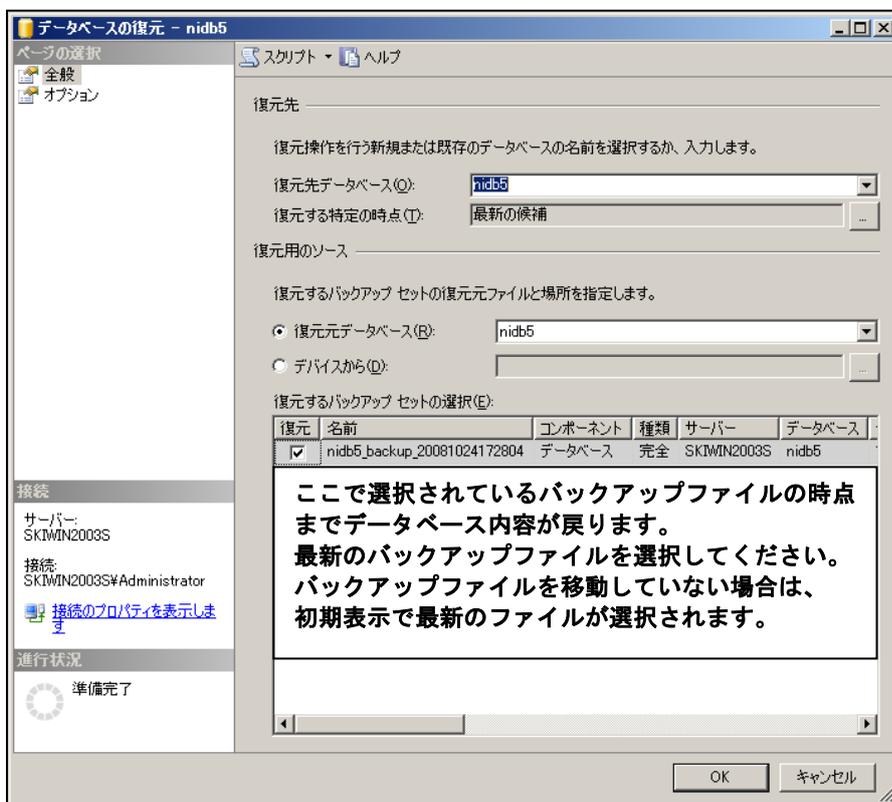
復元を実行している間、弊社製品を利用できません。ユーザーに対して運用停止の案内を行ってから作業を開始してください。

※nidb6 と nidb6_files を各 1 回ずつ実施する必要があります。

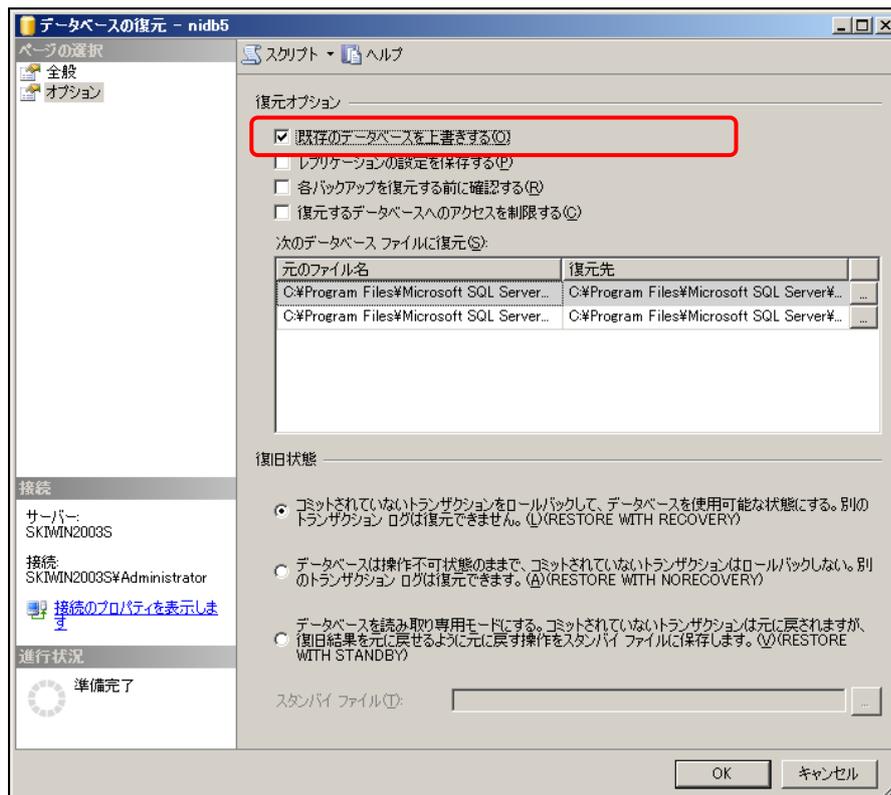
- ① nidb6 または nidb6_files を右クリックして、「タスク」>「復元」>「データベース」をクリックしてください。



- ② 以下の画面が開くので、復元するバックアップファイルを選択し、画面左側のオプションをクリックしてください。



③ 既存のデータベースを上書きするにチェックをつけ、「OK」ボタンをクリックしてください。



左下の進行状況が100%になると完了です、実行中はデータベースへのアクセスは出来ません。

○ 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

○ 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

○ 発行

2016年4月13日 第5版

株式会社 NIコンサルティング

テクニカルサポート

E-mail : tech@ni-consul.co.jp Tel : 050-5578-5014

営業時間 : 9 : 00-12 : 00 13 : 00-17 : 00 (土日祝および弊社休業日を除く)

製品保守契約をご契約のお客様のみご利用が可能です。

メールは休業中も受け付けております。お休み中にいただきましたお問い合わせにつきましては、

メール・お電話共に翌営業日以降順次ご対応させていただきます。予めご了承下さい。